

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019年12月26日付

京畿道漣川郡野生いのしし弊死体からASFウイルス検出
(野生いのしし52例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGhWFmemElMkY2OCUyRjMyMjM0MCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHllM0QlMjZiYnNpcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHllM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNmIzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UIM0QzJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョンゴン)新西面(シンソミョン)で発見された野生いのしし死体からASFウイルスが検出されたと12月26日明らかにした。

○死体は12月25日午前10時頃、漣川(ヨンチョン)民間制限線の山で農業従事者によって発見された。漣川郡(ヨンチョンゴン)はASF標準行動指針に従い、試料を採取して現場を消毒し、死体を処理した。

○国立環境科学院は12月26日、死体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。漣川郡(ヨンチョンゴン)で17例目の野生いのししASF確定診断となり、全国的には52件になった。

□定員化国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回の死体は拡張中の2次フェンス内で発見された。この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高い”と話した。

以上